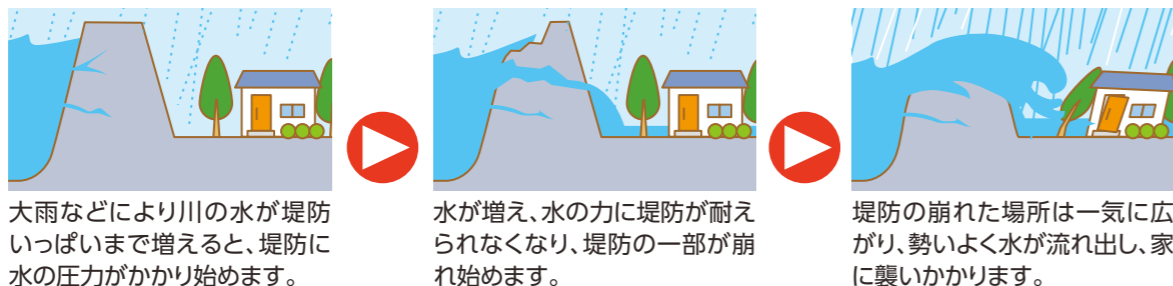


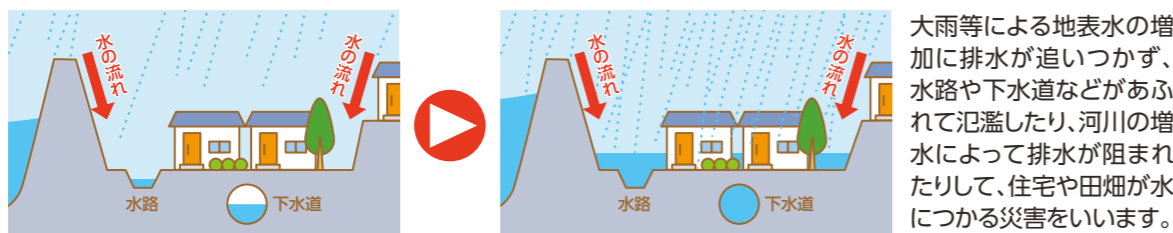
洪水発生のおしき

洪水は、大雨による河川の増水により、堤防が決壊するか、川の水が堤防を超えるなどして起こります。

洪水 (外水氾濫)

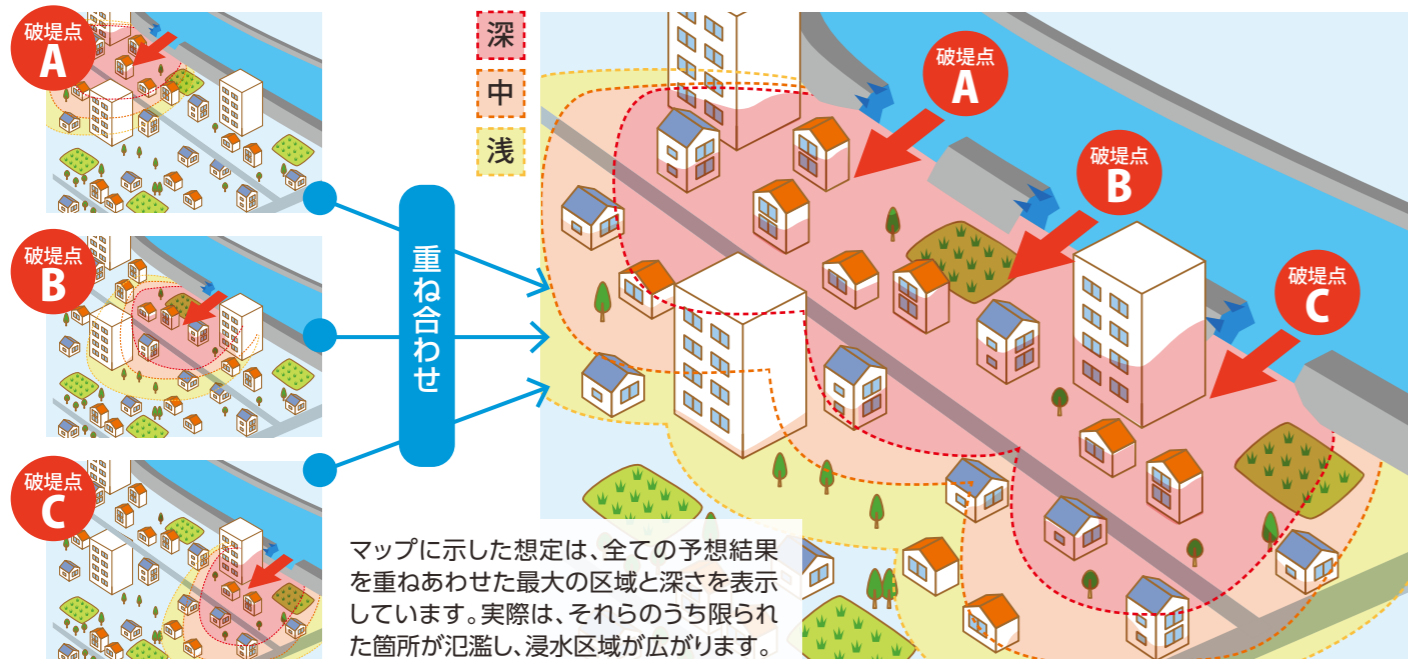


浸水害 (内水氾濫)

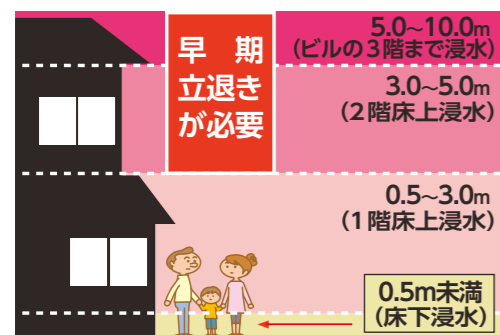


洪水浸水想定区域の考え方

全ての破堤点(堤防が決壊すると想定した箇所)について、どう氾濫し、浸水するか、それぞれの箇所での氾濫解析シミュレーションを行い予想しています。



浸水深の目安と家屋倒壊等氾濫想定区域



家屋倒壊等氾濫想定区域とは

家屋の倒壊・流出をもたらすような激しい流れが発生するおそれのある堤防沿いの地域で以下の区域が設定されます。



状況に応じた避難行動

水平避難と垂直避難(屋内安全確保)

洪水が予想される場合は、早めに浸水想定区域の外側の避難場所等へ避難することが基本です。避難場所への避難がかえって危険な場合は、近隣のより安全な場所へ避難しましょう。すでに避難経路が浸水しているなど、外出することが危険な場合は、今いる建物の上階に移動するなど、より安全な場所に避難しましょう。



早期立退き避難

自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域内にある、または浸水深が建物最上階の床の高さを上回る場合は、早期の立退き避難が必要です。

浸水継続時間が長い区域

浸水継続時間が長い地域ではライフライン(電気・ガス・上下水道・電話など)の復旧に時間がかかり、生活が困難になります。しばらくの間自宅に戻れないことも考慮して早めの避難を心がけてください。河川ごとの浸水継続時間は、下記ホームページで確認できます。

富山県内の浸水想定区域図ホームページアドレス http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1503/kj00009523.html

土砂災害警戒区域とは

地図中の「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」は、『土砂災害防止法』という法律に基づいて指定されたものです。

土砂災害警戒区域

土砂災害が発生した場合に住民などの生命又は身体に危害が生じる恐れがあると認められる区域で、危険の周知や警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域

土砂災害の発生時に、建築物に損壊が生じ住民などの生命又は身体に著しい危害が生ずる恐れがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する認可制度、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害の種類と前兆現象

がけ崩れ (急傾斜地の崩壊)

地中にしみこんだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって斜面が崩れ落ちる。

前兆現象

- がけからの水がにごる
- がけに亀裂が入る
- 小石がばらばら落ちてくる



土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって、一気に下流へと押し流される。

前兆現象

- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに、川の水位が下がる
- 急に川の水が濁り、流木が混ざっている

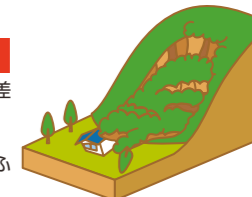


地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する。

前兆現象

- 地面に亀裂、段差ができる
- 樹木が倒れる
- 斜面から水がふき出す



もし土砂災害の前兆現象を発見したら?

- 1 直ちに土砂災害警戒区域の外へ移動する
- 2 市役所など最寄の行政機関に連絡する
- 3 避難場所へ避難する

各行政機関の連絡先は、最終ページをご覧ください。